

整理番号：9-1

提言題名：選挙に関わる費用の公開について

【提言の要旨】

令和5年度は、市長選挙及び市議会選挙が同年度に行われました。投票できる年齢が、18歳以上となり、一部の高校生も投票可能となっている。期日前の投票も3ヶ所で、夜間20時までとなり、利用者数も、増加となっている。

☆デジタル化（選挙公報の配布、入場整理券の発送）

☆SDGs 対応（ポスター掲示板の再利用化、投票所の設定適正化、紙面による広報の必要性）

各費用を公開する事にて、選挙に対し関心を高め投票率を向上させると思いません。

（令和6年2月受付）

【回答の要旨】

今年度に執行された取手市長選挙及び取手市議会議員一般選挙につきましては、●●様のおっしゃるとおり期日前の投票者数が前回の選挙よりも増加しており、期日前投票制度の周知が進んでいるところです。

しかし、選挙全体の投票率では減少傾向にあり、特に投票率の低い若年層への選挙啓発が重要であると認識しております。

お手紙にもありましたデジタル化は、若者の多くがスマートフォンを所持していることを踏まえて、啓発として有効な手段であると考えております。実際に、選挙公報は紙だけでなくホームページ上にも掲載し、容易に候補者の情報を得ることが可能となっております。

また、SDGs 対応につきましても、ポスター掲示場に使用している木材は毎回再利用をしており、ボード部分については段ボール素材としてリサイクルし、環境にも配慮しているところです。

なお、投票所に関しましては、投票所として使用する施設のバリアフリーや許容量等の状況、自治会・町内会等の地域の事情なども考慮したうえで総合的に判断する必要があるため、今後の検討事項であると認識しております。

最後に、選挙に関わる諸費用につきましては、市の決算書の中でも公表しているところですが、他市町村の事例なども参考にしながら、皆さんの関心が高まるような方法を模索していきたいと思えます。

【総務課（取手市選挙管理委員会）回答 令和6年2月】